

令和6年2月6日  
障害福祉部  
障害保健福祉課

## 高次脳機能障害者支援に関する検討状況について

### 1 主旨

高次脳機能障害者支援に関する今後の取組みについて検討状況を報告する。

### 2 これまでの経過

令和2年度 世田谷区議会において、「高次脳機能障害者支援における『梅ヶ丘拠点』の立て直し及び慢性的に不足している施設増設に関する陳情」が趣旨採択

令和3年度 「高次脳機能障害者の相談支援体制等に関する調査研究」を実施  
保健センターにおける高次脳機能障害担当の体制強化

### 3 現状の課題

令和3年度に実施した調査研究をもとに、保健センターにおいて相談体制の強化や、事例検討会を通じた関係機関とのネットワーク構築等を行っているが、以下の点が課題となっている。

#### (1) 保健センターにおける相談支援

- ・相談者のニーズに応じたきめ細かい相談対応が求められている。
- ・区民や関係機関等に対して、相談窓口の周知が不足している。

#### (2) 梅ヶ丘拠点としての高次脳機能障害の支援

- ・保健センターの「相談」と東京リハビリテーション世田谷の「訓練」における一体的な支援（訓練終了後の支援先へのつなぎや長期的な支援）が課題である。

#### (3) 地域における支援機関の役割の明確化

- ・支援機関それぞれの役割が明確になっていない。
- ・区民や関係機関等に支援機関の役割が認識されていない。
- ・特定の支援機関に相談や訓練が集中している。

### 4 解決に向けた基本的な考え方

#### (1) 保健センターにおける相談支援の充実

- ・専門職による本人・家族のニーズ整理やアセスメントに基づいた、より丁寧な相談対応。
- ・訓練終了以降における、本人の病状や生活環境の変化に応じた長期的な相談対応。
- ・高次脳機能障害の相談の入口であることを区民や関係機関等に広く周知。

(2) 梅ヶ丘拠点における相談支援の強化・推進

- ・梅ヶ丘拠点としての「相談」と「訓練」の双方向の連携。
- ・訓練終了後の支援先へつなぐための協力・連携。
- ・「ケアセンターふらっと」をはじめとする支援機関とのネットワークづくりとその強化。
- ・地域生活を送る上での、障害特性に合わせた寄り添った長期的な支援
- ・当事者や家族会への支援や居場所（いつでも使える場）の検討

(3) 地域における相談支援の強化

- ・地域研修会や施設連絡会等を通じて地域の相談支援の強化。
- ・支援機関が各々の役割の理解・共有し、役割に応じた連携した支援の提供。

5 今後の取組み方向性

別紙のスキームの具体化に向けた検討を関係機関と行う。

6 今後スケジュール（予定）

|           |                   |
|-----------|-------------------|
| 令和6年 2月以降 | 支援スキーム検討・関係機関との調整 |
| 令和6年10月以降 | 試行実施              |
| 令和7年度～8年度 | 試行実施の評価・検証        |
| 令和9年 4月   | 本格実施              |

# 世田谷区が目指す高次脳機能障害の標準的な支援スキーム（案）

